

社長所感（2月）

2月7日（日）全米No.1の人気を誇るアメリカン・フットボールの優勝戦、第50回スーパーボールが行われます。今回はAFC代表のデンバー・ブロンコスとNFC代表のカロライナ・パンサーズとの対戦で、今から試合が楽しみです。

実は、箱根駅伝、天皇杯サッカーなどの正月恒例のスポーツイベントの陰に隠れて目立ちませんが、わが国でも、1月3日、社会人チーム代表と大学生チーム代表による日本一決定戦のライスボールが行われました。

ちなみに、ライスボールというのは、アメリカン・フットボールのアメリカンが米国で、米＝ライスとなるからです。

今年のライスボールは、社会人チームのパナソニックが学生チームの立命館大を22-19の僅差で破り、4度目の優勝を果たしました。

アメリカン・フットボールは、オフェンス側とディフェンス側に分かれ、オフェンス側チームが4回のラン又はパスの攻撃の間に10ヤード以上進めば、新たに4回の攻撃権を得て、10ヤード以上進めば-----これを繰り返して相手方のエンド・ゾーンまでボールを運んで7点、4回の攻撃で10ヤード進めなければ、オフェンスとディフェンスが攻守交代し---これを繰り返して得点を競うゲームです。

ランやパスのコースの取り方、フェイク（だまし）の仕方などの戦術が、本場のプロチームで450～500種類、わが国でも60～80種類あります。

これらの戦術を試合で使いこなすためには、十分な練習が必要ですが、景気がいいと社会人は忙しく練習不足で不利になります。（右表のバブル期、規制緩和期の黒星）景気が悪いと社会人有利となります。

この伝（今年も社会人チームが勝利）で言えば、本格的景気回復はまだまだということになりますが、如何でしょうか。

	社会人	大学	成長率
1984年	● 28-29	○	4.8%
1985年	● 21-53	○	6.3%
1986年	○ 45-42	●	1.9%
1987年	● 34-35	○	6.1%
1988年	● 8-42	○	6.4%
1989年	● 7-47	○	4.6%
1990年	● 14-42	○	6.2%
1991年	● 13-31	○	2.3%
1992年	○ 28-6	●	0.7%
1993年	○ 29-20	●	-0.5%
1994年	○ 28-23	●	1.5%
1995年	○ 16-14	●	2.7%
1996年	● 21-35	○	2.7%
1997年	○ 19-16	●	0.1%
1998年	○ 39-0	●	-1.5%
1999年	○ 30-16	●	0.5%
2000年	○ 33-17	●	2.0%
2001年	○ 52-13	●	-0.4%
2002年	● 27-30	○	1.1%
2003年	● 13-36	○	2.3%
2004年	● 16-28	○	1.5%
2005年	○ 26-7	●	1.9%
2006年	○ 47-17	●	1.8%
2007年	○ 30-29	●	1.8%
2008年	○ 52-38	●	-3.7%
2009年	● 13-17	○	-2.0%
2010年	○ 19-16	●	3.5%
2011年	○ 24-0	●	0.4%
2012年	○ 38-28	●	0.9%
2013年	○ 21-15	●	2.0%
2014年	○ 34-16	●	-1.0%
2015年	○ 33-24	●	1.7%
2016年	○ 22-19	●	—